

生活看護論実習Ⅰ～Ⅳを履修した学生のみなさんへ 研究への協力をお願い

本学では、地域で暮らす人びとの生活や価値観を理解し、地域住民の生活に密着した看護を展開するため、開学時から地元、枚方市内を中心に生活看護論実習Ⅰ～Ⅳ（1～4年次）を行ってきました。この研究では、全ての生活看護論実習を終えたみなさんが「地域生活援助論実習Ⅳの実習後レポート」として提出された記述内容を、質的に分析することで、みなさんの学びと成果を可視化するとともに、本実習が地域にもたらす影響を明らかにしたいと考えます。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究は関西医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や学生のみなさんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」までご照会下さい。

《研究課題名》 4年間を通じた地元密着型の生活看護論実習における学生の学びの可視化と地域への波及効果の検討

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学看護学部地域看護学領域 講師 森田理江

《研究の目的》 地域住民との協働によるパートナーシップに基づき、課題解決を目指す生活看護論実習における学生の学びと成果を可視化し、実習が地域にもたらす影響を明らかにすること

《研究期間》 研究機関の長の承認日～2027年3月31日

《研究の方法》

●対象となる学生

関西医科大学看護学部の学生で2024年4月1日から2025年3月末日までの間に生活看護論実習Ⅳを履修した方

●研究に用いる情報の種類

実習後に提出されたレポートのうち、学生番号と氏名を削除した記述内容のみを使用

《情報の利用又は提供を開始する予定日》

2025年4月1日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、学生の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での情報等の取扱い》

学生の氏名や学生番号は特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただける場合は、以下のリンクから表示される同意ボタンをクリックしてください。なお、同意しないことによる不利益は一切ありません。

Google フォームのリンクを
提示する

《問い合わせ先》

研究責任者 関西医科大学看護学部 地域看護学領域 森田理江
〒573-1004 大阪府枚方市新町2-2-2
TEL : 072-804-0065 (直通)